

阪南市における就学前の教育・保育・子育て支援のあり方について（答申）へのご意見等について

当日資料

1. 意見等の募集状況

- (1) 募集期間：令和6年8月22日（木）～ 9月13日（金）
 (2) 提出委員：6名

2. 提出された主な意見（概要）

No.	分類	意見（概要）
1	公立幼稚園について	支援が必要な子どもなどへのインクルーシブな教育の提供は必要不可欠である。
2	公立幼稚園について	保護者同士・保護者と子ども・地域とのつながりの場であり、これまで果たしてきた役割は大きい。
3	公立幼稚園について	園に足を運ぶ機会が多く、親育ちの支援をしている。
4	公立幼稚園について	地域における人材育成の場としても役割を果たしている。
5	公立幼稚園について	積極的な地域行事により、地域に活力を生み出している。
6	公立幼稚園について	どのように存続させていくか、どのように活性化させていくかについて考えてもらいたい。
7	公立幼稚園について	共働きでない家庭のために、幼稚園は必要である。
8	公立幼稚園について	市から公立幼稚園をなくさないでほしい。
9	公立幼稚園について	保護者の選択肢として残してほしい。子どもの非認知能力を育む施設として残してほしい。

10	公立幼稚園について	スムーズな小学校への接続のために、公立幼稚園を残してほしい。
11	公立幼稚園について	単数学級になっていることで、公立幼稚園同士の交流機会を増やしているとのことだが、こうした取組を拡充してほしい。
12	公立幼稚園について	少人数でも選択される保護者に応えられるよう、工夫してほしい。
13	公立幼稚園について	大人の都合ではなく子どもたちの育ちや安全・安心を最優先に考えてほしい。
14	公立幼稚園について	今後も園児数の増加は大きく見込むことができない。
15	公立幼稚園について	1 クラスが 4 人だけというのは、大人が子どもの育ちの場を奪っているように感じる。
16	公立幼稚園について	少人数教育・保育を推奨したとしても、10 人以下の集団では育つ力が弱くなる恐れがある。
17	公立幼稚園について	同年代で 1 つのグループしか形成できない集団では、効果的な教育・保育を提供することは難しい。
18	公立幼稚園について	提供される教育・保育が今の社会状況に合っていない（預かり保育の時間や長期休業、給食など）。
19	公立幼稚園について	公立施設の運営は、ほとんどが市の負担である。老朽化対策や人件費等、財政的な視点も重要である。
20	今後の統廃合に向けて	子育て拠点再構築の見直し（統合）を進めるための根拠にはしてほしい。
21	今後の統廃合に向けて	現行の子育て拠点の再構築方針では、残すところ石田保育所と下荘保育所の統合のみであるが、統合を予定していない公立幼稚園も築 50 年近く経過している。子どもたちの安全・安心のために、幼保の統合も含め、早急に進めてほしい。
22	今後の統廃合に向けて	「園がなくなる」ではなく、これからの子どもの育ちに必要なことを最優先に考えて、子育て拠点の再構築方針の第 2 ステージを検討してほしい。

23	今後の統廃合に向けて	まい幼稚園の園児数の減少に関しては、早急に対応してほしい。
24	今後の統廃合に向けて	園児数が大幅に減少し、クラス活動が成り立たない場合は統廃合はやむを得ない。
25	今後の統廃合に向けて	子どもたちが犠牲になる前に1日でも早く合併してもらいたい。
26	今後の統廃合に向けて	昨今の社会情勢から、認定こども園のニーズが高まっている。公立認定こども園の整備に向けた検討を深めてほしい。
27	今後の統廃合に向けて	「私立」や「認定こども園」が悪いとは思わない。少子化が進行する中で、公立幼稚園を選択肢に残すことは難しいのではないかな。
28	今後の統廃合に向けて	現場の取組や意見を尊重して進めていったほしい。
29	今後の統廃合に向けて	セーフティネットとしての役割を継承してほしい。
30	今後の統廃合に向けて	答申内の「統廃合の必要が生じた場合は、地域や小学校とのつながりを作るという園区が設置された趣旨を考慮し、その本質が維持されることが望ましい」という部分を検証してほしい。
31	その他	公立幼稚園ではなく、むしろ私立認定こども園に通わせたい。
32	その他	私立施設にも支援が必要な家庭を受け入れていてもらいたい。
33	その他	公立・私立のどちらを選択しても子どもの成長発達が保障され、小学校との連携が果たされることが大切である。
34	その他	答申と実態がそぐわないのであれば、答申を出した阪南市子ども・子育て会議で確認・協議してはどうか。
35	その他	阪南市子ども・子育て会議は、公立幼稚園を残すかどうかを決める場ではない。